

報道関係各位

件 名 「ノーラ名栗」交流事業エリアの運営開始について

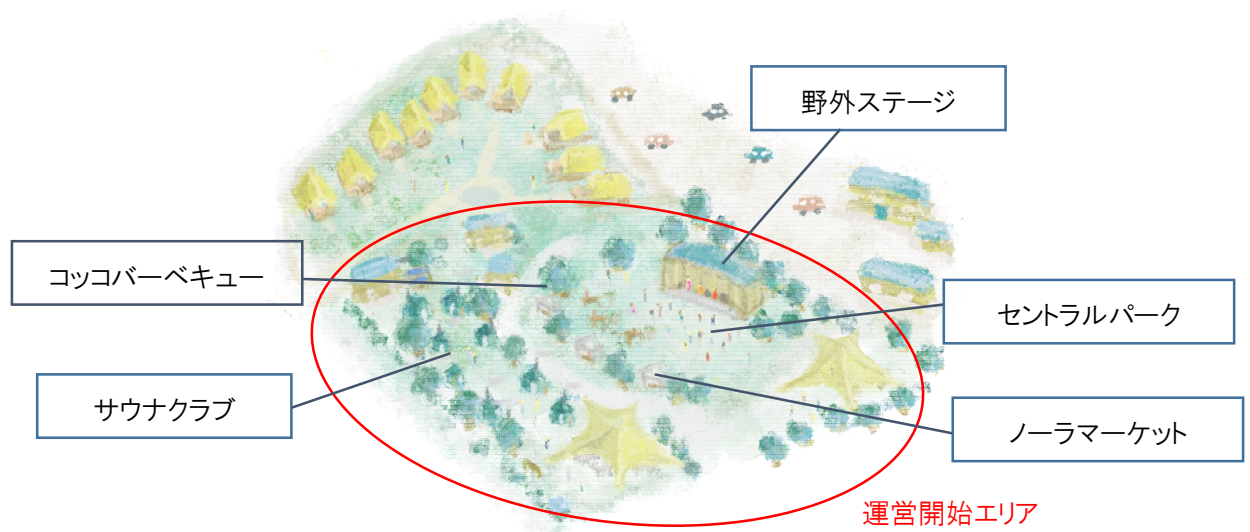
令和元年度より整備を進めてまいりました「ノーラ名栗」交流事業エリアについて、令和2年8月1日より運営を開始することになりました。

ノーラ名栗では、新型コロナウイルス感染症に対して万全の対策を講じつつ、施設の設置目的である地域の観光・農業・林業の振興のほか、地域経済への波及効果や新たな森林の利活用モデルの構築の実現に向けた取組を進めます。

また、指定管理者である株式会社ワンダーワンダラーズによる「ノーラ名栗」のオフィシャルウェブサイト (<http://nolla-naguri.jp>) が7月6日に開設され、ウェブサイト上で各種コンテンツの予約受付が開始されます。

記

- 1 施設概要 名称：ノーラ名栗（正式名称：飯能市農林産物加工直売所）
 所在：飯能市大字下名栗 607 番地 1
- 2 運営開始日時 令和2年8月1日（土）午前10時
- 3 運営が開始されるエリア



※各種コンテンツの詳細については、7月6日開設のオフィシャルウェブサイトをご覧ください。

4 新型コロナウイルス感染症対策

「ノーラ名栗」における新型コロナウイルス感染症対策では、運営事業者側での対策は元より、施設を利用していただくお客様にも対策への積極的なご協力をいただくことで、ノーラ名栗にお越しいただくときからお帰りになるまで、新たな生活様式のモデルとなるような安全・安心な施設運営を実現していきます。

また、新型コロナウイルス感染症対策を今後さらに強化していくため、国の「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」の活用を積極的に図っていきます。

(1) 安全・安心で選ばれる施設運営の確立

きめ細やかな新型コロナウイルス感染症対策の実施による安全・安心な施設運営を常に意識し、市民の皆様や利用者の方に選ばれてお越しいただける施設を目指します。

<主な対策>

●三密状態の回避

- ・ 食堂等は常に定員の50パーセント以下で営業
- ・ 野外での飲食スペースを拡充
- ・ 各施設における換気の徹底

●施設へのアクセスにおける対策

- ・ 路線バスの運行本数を増便することで過密な乗車を回避
- ・ 参加者を限定したイベント開催時の直行バスの運行

●運営事業者との接触機会の低減

- ・ 日帰りBBQなどにおけるサービスの最少化
- ・ キャッシュレス決済の導入
- ・ 飛沫感染防止シートの設置

(2) 市民や施設利用者との協働による対策効果の向上

運営事業者側が感染症対策を講じるだけでなく、施設を利用するお客様にも積極的に感染症対策にご協力をいただき、事業運営者側とご利用者との間、ご利用者同士など様々な状況下における対策効果を高め、より安全・安心な施設運営に繋げていきます。

<主な対策>

●来場時のマナー

- ・ 施設利用者のマスク着用
- ・ キャッシュレス決済の利用

●三密の回避（クラスターリスクの軽減）

- ・ 有料施設の利用やイベント等の参加への事前予約（完全予約制）
- ・ サウナテントなどの施設の貸切による利用
- ・ 共用施設での滞在時間の縮減への協力
- ・ 施設混雑時の利用分散への協力

●検温の実施

- ・ サウナテント等の有料施設利用時の検温への協力

担当者 農業振興課長 木崎 晃典
連絡先 042-973-2122

